電子工学科					平成22年度			
科目名	情報処理Ⅲ Information ProcessingⅢ			担当教員	天造秀樹			
学 年	3年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号		単位区別	履修	
学習目標	将来、技術者として日頃の技術活動において必要になる数値計算のアルゴリズムを習得することが主な目である。習得したアルゴリズムに基づいて手計算で簡単な問題を解くことができる能力をつける。手計算で解したアルゴリズムをコンピュータ上で実現できる能力をつける。							
	得させる。次に,	体得した計算手	には,手計算を重 順をフローチャー せ,コンピュータ	トで表現でき	る能力を養う。最	長後にコンピュー	-タを用いて	
	学習項目(時間数)				学習到達目標			
	1. 演習システム(2)			基本操作	基本操作法を学ぶ。			
	2. Visual Studio の基本操作(2)				D2:1 数値計算に含まれる誤差を理解する。			
	3. データの型(2)			数値計算				
	4. 丸め誤差(2)				D2:1			
	5.合計,平均値と分散(2)				基本的な計算を通して、フローチャートの書き方を習			
	6. 課題演習(2)			得する。			D0 · 1	
-	7. 行列の計算(2) [前期中間試験]						D2:1	
	8. 答案の返却と解説(1)			1 次浦立	1次連立方程式の基本的な解法を習得する。			
	9. 級数の計算(2			1 八生业	D2:1			
	10. 大きさの順に並べる(2)						2- 1	
	11. 課題演習(2)							
	12. ガウスの消去法(2) 13. 課題演習(2)							
	14. ピボット選択(2)							
	前期末試験			# ## A L				
<b>千百四台</b> 1	15. 答案の返却と解説(1) 16. 逐次代入法(2) 17. 課題演習(2) 18. ニュートン法(2) 19. 課題演習(2) 20. ラグランジュ補間法(2) 21. 課題演習(2) 22. 課題演習(2)			非線形方	程式の解法を習行	导する。		
							D2:1	
				関数の補	関数の補間法を学び,積分の準備をする。 D2:1			
				X  9X • 7  III				
Ī	[後期中間試験]							
	23. 答案の返却と解説(1)			数値積分	数値積分の解法を習得する。			
	24. 台形法とシンプソンの方法(2) 25. 課題演習(2) 26. 乱数を用いたシミュレーション(2) 27. 課題演習(2) 28. ルンゲ・クッタ法(2) 29. ルンゲ・クッタ法の応用(2) 後期末試験 30. 答案の返却と解説(1)				D2:1 微分方程式の基本的解法を習得する。 D2:2			
				微分古钽				
				px/J /J /主				
-					_			
評価方法	定期試験を80%	ん, 演習レポー	トを20%で総合評	呼価する。				
履修要件	特になし							
関連科目	情報処理Ⅱ							
教 材	教科書:戸川隼人著 「ザ・数値計算リテラシ」 サイエンス社							
備考								